

「第2期とやま『人』と『環境』にやさしい農業推進プラン」に対するパブリックコメントの意見の概要と考え方について

募集期間：令和4年2月2日～令和4年2月18日

意見提出件数：21件

意見提出人数：5人

番号	項目	意見の概要	意見に対する考え方
1	I-1-■「みどりの食料システム戦略」と有機農業の推進	「これらを本県でも取組を推進する必要があります。」に記載を変更してはどうか。	いただいたご意見を踏まえ、修正をします。
2	I-1-■「みどりの食料システム戦略」と有機農業の推進	「これらについても本県での取組を推進する必要があります。」に記載を変更してはどうか。	
3	II 基本方針	「本推進プランは、」のあとに「環境の保全」の記載がない。「環境の保全」またはこれに関する事柄の記載が必要ではないか。	いただいたご意見のとおり、修正します。
4	II-1(3)③生物多様性や地球環境の保全の推進	例えば、生物多様性の保全や安全・安心の農業生産環境を確認するための、生き物調査を、小中学生の野外活動やボランティアにも協力してもらって、有機農業農家やエコファーマーの圃場も絡めて実施して、その結果を広く一般の人たちに知ってもらうようにしてはどうか。このことは、取り組まれる農業生産者への理解と応援する気持ちを醸成し、生産物の購入者を増やすことに繋がるのではないか。	ご意見を踏まえ、今後の具体的な各事業実施に取り組んでまいります。
5	II-1(3)⑤有機農業の推進-工有機農業の推進体制の整備等	「各種補助事業の要件確認について、実施者の理解促進を図るなど」と記載を変更してはどうか。	いただいたご意見のとおり、修正します。
6	II-2(1)現状と課題	■基本方針2:「消費者(人)にやさしい農業」の展開(1)現状と課題の本文1行目に、「…上で当たり前のことですが、…」とあるが、続く文面からすると事件や事故が少なからず発生していることや信頼低下の大きな要因となっていることが当たり前のようにとらえることができるので、記載を変更してはどうか。	いただいたご意見を踏まえ、修正します。
7	II-3(3)①農作業事故の未然防止の徹底	「通行者、農業・施設管理者に対して、農業用水路への転落事故の未然防止活動を関係機関で連携して、推進します。」と記載を変更してはどうか。	いただいたご意見のとおり、修正します。
8	II-3(3)①農作業事故の未然防止の徹底	「…、農業機械事故とは違い、適切に対策を講じれば確実に防止…」とあるが、農業機械事故は適切に対策を講じても防止できない事故だと読み取れないか。記載を変更してはどうか。	いただいたご意見を踏まえ、修正します。
9	II-3 農業者にやさしい農業の展開 全般	農作業事故対策は特に緊急を要します。高齢者が年に何度かしか扱わない農業機械については集落単位で安全講習会を開く試みなどが考えられる。また、危険な用水路や農道など、地域ごとのハザードマップを作って知らせ、できればネットやガードレールの設置も有効かと思われる。	ご意見を踏まえ、今後の具体的な各事業実施に取り組んでまいります。
10	II-共通取組1②革新的な技術・生産体系の適応性の評価(社会実装)	県農林振興センターも取組んでおり、「県農林水産総合技術センター及び県農林振興センターにおいて」と記載を変更してはどうか。	いただいたご意見のとおり、修正します。
11	II-共通取組1 新技術の開発と導入推進 全般	新技術の導入は若い後継者の確保、一人あたりの作付面積の拡大などの観点からも重要です。そのためには試験研究機関や普及組織に農業機械、IT技術、新しい農業経営・経済、営農の専門家育成が必要と思われます。	ご意見を踏まえ、今後の具体的な各事業実施に取り組んでまいります。

番号	項目	意見の概要	意見に対する考え方
12	Ⅱ-共通取組2① GAPや有機農業等の県民への効果的なPR	①GAPや有機農業等の県民への効果的なPRにおいて、「等に関する」へ記載を修正してはどうか。	いただいたご意見のとおり、修正します。
13	Ⅱ-共通取組2① GAPや有機農業等の県民への効果的なPR	「県民にその取組を理解してもらうことが、農業者の取組促進につながります。」は分かりにくいので、記載を変更してはどうか。	いただいたご意見を踏まえ、修正します。
14	Ⅱ-共通取組2① GAPや有機農業等の県民への効果的なPR	「効果的なPR」とは何か。	SDGsやエシカル消費等を関連付けて消費者のPRすることで効果的なPRと記載しています。
15	Ⅱ-共通取組2① GAPや有機農業等の県民への効果的なPR	「見える化」とあるが、同項目の本文中に該当する表現が見られないので、項目名を変更すべきではないか。	いただいたご意見を踏まえ、修正します。
16	Ⅱ-共通取組2県民の理解と信頼の醸成 全般	<p>エコファーマーの認定、有機農業への取り組み、GAP認証の取得などを、生産者に積極的に取り組んでもらうためには、取り組んだ結果、どれだけのメリットが得られるかをわかりやすく具体的に示せるかどうかにかかっていると思われる。</p> <p>これらに取り組んでおられる生産者からの農産物の安全性と高品質を、何とかアピールする工夫をして、県内はもちろん、県外、できれば輸出品としても売り込めるような方策を試行錯誤すべきと思われます。幸い富山県は伝統的に(置き薬、種籾生産など)「信用」のある県です。安全で高品質、保存性が良ければ多少高価格でも輸出しようと思われる。</p>	ご意見を踏まえ、今後の具体的な各事業実施に取り組んでまいります。
17	Ⅲ(1)推進目標	年間あたり30件の下に「(延べ150件)」と加筆した方が分かりやすい。	いただいたご意見のとおり、修正します。
18	Ⅲ目標指標等	「推進指標等」、「推進目標」について、意味が同じであれば、できるだけ統一した記載にしてはどうか。	いただいたご意見を踏まえ、修正します。
19	全般	推進プランの表紙は、このプランが目指す姿にすべきではないか。	いただいたご意見を踏まえ、表紙を更新することを検討します。
20	全般	報道では、各都道府県GAPの基となっている現行の共通基盤GAPガイドラインを廃止し、2022年度に新たに国際水準GAPガイドラインを施行するとともに、各都道府県GAPについては、国際水準に引き上げるか、廃止するよう求める、としているが、本県は県GAPについてどのように対応するのか、新指針を踏まえ、本プランも見直す必要がある。また、「みどりの食料システム戦略」推進法も検討されており、それに合わせ本プランを見直す必要があることから、同プランの策定は延期すべきではないか。	とやまGAP規範については、国際水準GAPガイドラインの項目を追加する方向で改正を検討しているところ。国際水準GAPガイドラインで追加される項目についても、本プランの内容に追加しているところ。また、I-2 第2期プラン策定の趣旨において「なお、本推進プランの計画期間は、令和4年度から令和8年度までとし、・「みどりの食料システム戦略」の推進に係る法律の制定や農業情勢の変化などに対応し、必要に応じて見直しを行うこととします。」と記載しており、随時、必要な見直しを対応してまいります。
21	全般	今回示された農業推進プラン(案)は前回のプランに沿ったこれまでの取り組みや進捗状況、さらには新たな社会情勢に合わせてこれから進むべき方向などがよく考慮され、取り入れられて、全体としてはよくできたプランだと思われます。具体的に前進させるためには、比較的急いで取り組むべきいくつかの課題にしぼり、それらに予算と人材を投入して、成果に仕立てて行く必要があるのではないかと考えます。そしてポイントとなるところに、具体的な取り組み計画(予算、年度も含めて)を加筆してはどうか。	本プランは5年間計画であるので、単年度の予算等については別資料で整理してまいります。